患者向医薬品ガイド
2026年6月更新

アタラックス-Pシロップ0.5%

【この薬は？】

販売名	アタラックス-Pシロップ0.5% Atarax-P Syrup 0.5%
一般名	ヒドロキシジンパモ酸塩 Hydroxyzine Pamoate
含有量 （1mL中）	ヒドロキシジンパモ酸塩8.52mg （ヒドロキシジン塩酸塩5mgに相当）

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

・この薬は、アレルギーの原因となるヒスタミンを抑え、アレルギー症状を改善します。
・この薬は、脳内に作用し、気持ちを落ち着かせます。
・次の病気の人に処方されます。
蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症）
神経症における不安・緊張・抑うつ
・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

〇次の人は、この薬を使用することはできません。

・過去にアタラックス-P シロップに含まれる成分や、セチリジン、ピペラジン誘導体、アミノフィリン、エチレンジアミンで過敏症のあった人
・ポルフィリン症の人
・妊婦または妊娠している可能性がある人

〇次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

・てんかんなどのけいれん性疾患のある人、または過去にこれらの疾患と診断されたことがある人
・QT 延長（心電図の波形の異常）のある人（先天性 QT 延長症候群など)、著明な徐脈や低カリウム血症などのある人
・緑内障の人
・前立腺肥大など下部尿路に閉塞性疾患のある人
・重症筋無力症の人
・認知症の人
・狭窄性消化性潰瘍または幽門十二指腸閉塞など消化管運動が低下している人
・不整脈を発現しやすい状態にある人
・腎臓に障害がある人
・肝臓に障害がある人
・授乳中の人

〇この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて医師が決めます。
通常、飲む量および回数は、次のとおりです。

〔蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症）で使用する場合〕

販売名	アタラックス-P シロップ 0.5%
一日量	ヒドロキシジンパモ酸塩として 85～128mg （ヒドロキシジン塩酸塩として 50～75mg）
飲む回数	1 日 2 回または 3 回に分けて飲む

〔神経症における不安・緊張・抑うつで使用する場合〕

販売名	アタラックス-P シロップ 0.5%
一日量	ヒドロキシジンパモ酸塩として 128～255mg （ヒドロキシジン塩酸塩として 75～150mg）
飲む回数	1 日 3 回または 4 回に分けて飲む

●どのように飲むか？

決められた 1 回量を、軽量カップなどではかり飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して 2 回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

過度の鎮静（活動量や発話量が少なくなる、眠り込んでしまう）、また、まれに振戦（手足のふるえ、首のふるえ）、けいれん、低血圧、意識レベルの低下、嘔気（吐き気）・嘔吐（おうと）などがあらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

・眠気があらわれることがあるため、この薬を使用している間は自動車の運転などの危険を伴う機械を操作しないでください。
・この薬を使用していて皮膚疾患が改善しない場合は、医師に相談してください。
・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することはできません［口蓋裂などの奇形を有する児を出産したとの報告や、出産後新生児に精神神経系症状、新生児低酸素症があらわれたとの報告があります］。
・授乳を避けてください。
・アルコール飲料は、この薬に影響しますので、控えてください。
・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい
QT延長 キューティーえんちょう	めまい、動悸、気を失う
心室頻拍（トルサード　ドポアントを含む） しんしつひんぱく	めまい、動悸、胸の不快感、気を失う
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
急性汎発性発疹性膿疱症 きゅうせいはんぱつせいほっしんせいのうほうしょう	発熱、皮膚が広い範囲で赤くなる、ところどころに小さな膿をともなう発疹が出る

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき、疲れやすい、体がだるい、力が入らない、食欲不振、体がかゆくなる、発熱
頭部	めまい、意識の消失、気を失う
顔面	顔面蒼白
眼	白目が黄色くなる
口や喉	喉のかゆみ、吐き気
胸部	動悸、息苦しい、胸の不快感
手・足	手足が冷たくなる
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹、皮膚が黄色くなる、皮膚が広い範囲で赤くなる、ところどころに小さな膿をともなう発疹が出る
尿	尿の色が濃くなる

【この薬の形は？】

販売名	アタラックス-P シロップ 0.5%
形状	 
性状	淡橙色のシロップ剤

【この薬に含まれているのは？】

販売名	アタラックス-P シロップ 0.5%
有効成分	ヒドロキシジンパモ酸塩
添加剤	ソルビン酸、カルメロースナトリウム、プロピレングリコール、D-ソルビトール液、香料、黄色５号

【その他】

●この薬の保管方法は？

・直射日光と湿気を避けて室温（１～３０℃）で保管してください。
・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

・絶対に他の人に渡してはいけません。
・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ファイザー株式会社
(https://www.pfizer.co.jp/pfizer/)
メディカル・インフォメーション（患者さん・一般の方）
電　　話：０１２０－９６５－４８５
受付時間：月～金　９時～１７時３０分
（土日祝日および弊社休業日を除く）